

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

I 4件の再編統合について

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
1	b	再編統合の対象校の教育の質を維持するため、教職員数の確保について、実施計画に記載してもらいたい。	ご意見を踏まえ、実施計画(素案)のIの4「実施手順」の「対象校の在校生については、入学時における教育課程の履修を原則とすることから、卒業まで入学した学校の校舎等において学習する。この間、対象校においては、在校生の学習希望や進路希望等に適切に対応できるよう、対象校が合同で教育活動を実施するなど、学校や生徒・保護者の意向、地理的条件、教育内容、指導体制、施設・設備の状況等に応じた適切な措置を講ずるものとする。」の後に、「また、教員配置については、前期再編では、再編統合の対象校で学ぶ生徒が卒業するまでの間、充実した学びの機会が保証されるよう追加配置していることを踏まえ、今回の高校再編においても、適切に対応していくものとする。」を加筆させていただきます。
2	b	生徒たちに、当地域の高校を卒業したという意識を持って社会に出てもらうよう、教員数などフォローをしてもらいたい。	
3	a	再編統合の対象校の生徒たちが最後まで充実した教育を受けることができるよう、教職員の人的配置を含めた教育条件整備に、責任をもってあたってもらいたい。	
4	c	在校生の減少に伴い教員も減っていくので、選択科目が開講されないなど、科目履修に制限が生じることを懸念する。 【この他、同様のご意見 1件】	
5	b・c	再編統合の対象校の在校生が減っていくことによって、授業や部活動、学校行事において、いろいろな問題が出てくると思うので、配慮してもらいたい。【この他、同様のご意見 2件】	実施計画(素案)のIの4「実施手順」において、「対象校の在校生については、入学時における教育課程の履修を原則とすることから、卒業まで入学した学校の校舎等において学習する。この間、対象校においては、在校生の学習希望や進路希望等に適切に対応できるよう、対象校が合同で教育活動を実施するなど、学校や生徒・保護者の意向、地理的条件、教育内容、指導体制、施設・設備の状況等に応じた適切な措置を講ずるものとする。」と記載しています。 今後、いただいたご意見も踏まえながら、適切な措置を講じてまいります。
6	b・f	再編統合の対象校が最後の1学年になっても、これまでと同じ水準の教育が受けられるようにしてもらいたい。 【この他、同様のご意見 1件】	
7	b	最後の生徒たちが、自分たちの学校がなくなるということで寂しい思いをするだろうが、県で配慮してもらいたい。	
8	b・c	再編統合の対象校の最後の生徒が卒業するまで、不自由なく学校生活を送らせてあげてもらいたい。 【この他、同様のご意見 1件】	
9	b	来年再編統合の対象校に入学する生徒のために、現在と同じような学習の場や部活動を維持してもらいたい。	
10	b	再編統合の対象校の生徒が卒業するまで、部活動の指導体制を維持してもらいたい。 【この他、同様のご意見 1件】	

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
11	c	過渡期の合同部活動が円滑に行われるよう、しっかりと対応してもらいたい。	<p>【No.5~10の対応(案)を再掲】</p> <p>実施計画(素案)のIの4「実施手順」において、「対象校の在校生については、入学時における教育課程の履修を原則とすることから、卒業まで入学した学校の校舎等において学習する。この間、対象校においては、在校生の学習希望や進路希望等に適切に対応できるよう、対象校が合同で教育活動を実施するなど、学校や生徒・保護者の意向、地理的条件、教育内容、指導体制、施設・設備の状況等に応じた適切な措置を講ずるものとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、適切な措置を講じてまいります。</p>
12	c	再編統合の対象校への支援は最初だけではなく、最後までしてもらいたい。	
13	a	県教委は、県に対し、再編統合の対象校の子どもたちや教職員が納得できるように予算をつけるよう強く求めてもらいたい。	
14	a	県は、再編統合の対象校の生徒たちが充実した教育を受けることができるよう、しっかりと予算をつけてもらいたい。	
15	b	再編統合の対象校の在校生が、新高校に移って学校生活を送ることも検討してもらいたい。	
16	b	再編統合の対象校の在校生を、新高校に移さないでもらいたい。	
17	b	再編統合の対象校の最後の3年生だけで、合同で何かをするのも面白いと思う。	
18	a	再編統合の対象校の伝統・地域の特色をいかしながら、高校再編を進めてもらいたい。	<p>実施計画(素案)のIの1「趣旨」において、「新高校の学科構成や教育内容等については、再編統合の対象となる学校の歴史や伝統、これまで果たしてきた役割、地域のニーズ等を踏まえ、また、特色ある学科やコース、部活動を引き継ぐ方向で検討を進め、定めたものである。」と記載しています。</p> <p>また、実施計画(素案)の前文において、「今後、この素案について意見募集や地域説明会を実施し、再編統合の対象となる高校の地域や関係者をはじめ、広く県民の意見をお聞きしながら、実施計画の最終的な取りまとめに向け、さらに検討を進めていくものとする。」と記載しています。</p>
19	a・c・f	再編統合の対象校の生徒・保護者、同窓生や地域の人々に丁寧に説明し、意見を聞きながら進めてもらいたい。 【この他、同様のご意見 2件】	
20	a	新高校に移行するにあたり、教育目標やカリキュラム、入学者選抜方法、校名、校歌・校章、部活動等について幅広く意見を聴き、慎重に検討を進めてもらいたい。	<p>高校再編については、今後とも、再編統合の対象となる学校の伝統・地域の特色をいかしながら、また、学校関係者の意見を聞きながら進めていくこととしておりますので、ご意見を踏まえ、実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」の「新高校の教育目標やカリキュラム、入学者選抜方法、学校の名称、校歌・校章など、より具体的な検討を進めることとする」を、「新高校の教育目標やカリキュラム、入学者選抜方法、学校の名称、校歌・校章などについて、再編統合の対象となる学校の歴史や伝統等を踏まえ、学校関係者の意見をお聞きしながら、より具体的な検討を進めることとする」と修正させていただきます。</p>
21	a	新たに出発する高校として、生徒達や地域住民の方々に受け入れられる、斬新な、入学したくなるような校名にしてもらいたい。	<p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「今後、新高校の教育目標やカリキュラム、学校の名称、校歌・校章など、より具体的な検討を進めることとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、より具体的な検討を進めてまいります。</p>
22	b	新高校の校名は、募集した方が地元の理解がスムーズになるのではないかと思いますので、検討してもらいたい。 【この他、同様のご意見 1件】	

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
23	b	新高校の校名には設置場所の地名を残すべきだと思う。 【この他、同様のご意見 2件】	<p>【No21～22 の対応(案) を再掲】</p> <p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「今後、新高校の教育目標やカリキュラム、学校の名称、校歌・校章など、より具体的な検討を進めることとする。」と記載しています。今後、いただいたご意見も踏まえながら、より具体的な検討を進めてまいります。</p>
24	b・d	校名、校歌、校章、制服を変えないでほしい。 【この他、同様のご意見 7件】	
25	a	新高校では、就職指導に積極的に取り組んでもほしい。	
26	a	新高校の生徒の進路については、専門学校と就職を増やしてほしい。	
27	a	新高校では、民間企業の就職求人数を100件から200件を目標として増やしてほしい。	
28	a	新高校では、「アクセサリーの基礎」という授業をしてほしい。	
29	a	新高校では、イヤリングやネックレスのつけ方を指導することを広く知ってほしい。	
30	a	新高校では、イヤリングとネックレスをつけて登校できるようにしてほしい。	
31	a	新高校では、女子運動部に男子マネージャーを積極的に受け入れてほしい。	
32	d	再編統合の対象校の跡地利用の検討にあたっては、引き続き地域の活性化につながるよう、県としても、地域全体の将来の姿をしっかりと描きながら、市町村にアドバイスをしてほしい。	
33	d・f	再編統合の対象校の跡地利用については、市町村と対話を重ね、市町村の希望も聞きつつ、県の責任で方向性を示してほしい。 【この他、同様のご意見 2件】	

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
34	d・f	<p>県立高校に土木・建築学科を新增設してもらいたい。</p> <p>【この他、同様のご意見 1件】</p>	<p>県立高校の学科については、時代の変化に対応した人材を育成するため、必要に応じて随時見直すことが望ましいと考えていますが、土木・建築に関する専門学科(土木・建築系学科)の新增設については、①平成27年度に、従来20名程度であった高岡工芸高校土木環境科土木工学コースの受入れ枠を30名程度まで拡大できるように実験・実習設備を整備していること、②平成28年度までの一般入学者選抜の志願倍率は、土木・建築系学科が薬業に関する専門学科(薬業系学科)を上回っていたものの、ここ2年間は土木・建築系学科が薬業系学科を下回っていること、③県内関係業界からの求人倍率、県内関係業界への就職率は、いずれも土木・建築系学科が薬業系学科を下回っていること、④県内関係業界に就職した者の3年以内の離職率は、土木・建築系学科が薬業系学科を上回っていることを踏まえますと、現時点で県立高校に土木・建築系学科を新增設することは、なかなか難しい面があるのではないかと考えております。</p> <p>【詳細は参考資料1】</p>
35	d	<p>県立高校にデザイン学科を新增設してもらいたい</p>	<p>県立高校の学科については、時代の変化に対応した人材を育成するため、必要に応じて随時見直すことが望ましいと考えていますが、デザインに関する専門学科(デザイン系学科)の新增設については、①一般入学者選抜の志願倍率は、デザイン系学科が薬業に関する専門学科(薬業系学科)を下回っていること、②県内関係業界からの求人倍率、県内関係業界への就職率は、いずれもデザイン系学科が薬業系学科を大きく下回っていることを踏まえますと、県内関係業界に就職した者の3年以内の離職率は、デザイン系学科が薬業系学科を下回っているものの、現時点で県立高校にデザイン系学科を新增設することは、なかなか難しい面があるのではないかと考えております。</p> <p>【詳細は参考資料2】</p>
36	d	<p>上市町には薬に関連する企業も多く、地域産業振興にも大きく寄与することから、他の薬業科のある学校と併せ、上市高校への薬業科の設置を検討してもらいたい。</p>	<p>富山県薬業連合会からご要望いただいた県立高校の薬業に関する専門学科(薬業系学科)の増設については、①薬業系学科の一般入学者選抜の志願倍率が、職業科全体の平均を大きく上回っており、また、県内関係業界からの求人倍率、県内関係業界への就職率のいずれもが職業科の中で最も高いことから、増設の必要性が最も高いこと、②増設するとした場合、一般入学者選抜の志願倍率、関係業界からの求人倍率が、いずれも富山北部高校のくすり・バイオ科が滑川高校の薬業科を上回っていることを踏まえ、総合教育会議で検討・協議を行っております。</p> <p>その結果、水橋高校と富山北部高校による新高校において、くすり・バイオ科を1学級から2学級に増設することを、実施計画(素案)に盛り込んでおります。</p> <p>ご要望の上市高校への薬業科の設置については、上市高校は農業学校としてスタートしており、昭和32年に設置した薬業科を平成7年度に募集停止し、平成9年度には普通科、農業科を募集停止して総合学科を設置しております。また、現在、上市高校では薬業に関する授業が行われておらず、薬業系学科を新設する場合、新たな設備整備が必要となります。</p> <p>こうしたことを踏まえますと、上市高校に薬業系学科を設置することは、なかなか難しい面があるのではないかと考えております。</p> <p>【詳細は参考資料3】</p>

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
37	a	平成 30 年 2 月に総合教育会議で定められた県立高校再編の実施方針は、意見交換会で表明された「地域の学校を残してもらいたい」との圧倒的多数の声を無視するなど、決定過程に重大な瑕疵があるため、無効であり、白紙撤回すべきである。	<p>高校再編については、平成 26 年 9 月に設置した県立学校整備のあり方等に関する検討委員会でとりまとめられた報告書を受け、平成 28 年 6 月から 9 回にわたり総合教育会議において丁寧に議論を重ねてまいりました。議論を進めるにあたっては、再編統合の検討の対象となる高校がある全ての市町の首長からご意見をお聴きしております。また、各学区等で合わせて 15 回の意見交換会を開催し、再編の必要性や議論の状況等を説明した上で、幅広い県民の方々のご意見やご要望をお聴きし、できるだけ理解が得られるよう努めてまいりました。そして、この意見交換会でいただいた主なご意見や再編に積極・慎重なご意見数、各団体からいただいたご要望等も踏まえ、総合教育会議で検討・協議しております。</p> <p>その上で、平成 30 年 2 月に開催された総合教育会議において、県立高校教育振興会議でとりまとめられた報告書を踏まえて検討・協議を行い、中学校卒業予定者数の大幅な減少が見込まれる中、引き続き中学生に幅広い選択肢を確保し、本県の高校教育を充実するため、県立高校の再編統合を進めるとの実施方針を定めております。</p>
38	a・c	地元から高校がなくなる生徒の通学への負担がかからないよう配慮してもらいたい。 【この他、同様のご意見 1 件】	平成 30 年 2 月に開催された総合教育会議において、県立高校再編の実施方針を定めるにあたり、再編統合の対象校については、生徒の通学の利便性に配慮し、学校間の距離が近い学校としております。
39	b・c	県立高校教育振興会議の報告書の附帯意見のとおり、公共交通機関による通学利便性向上に向けて、関係機関へ働きかけてもらいたい。 【この他、同様のご意見 2 件】	<p>県立高校教育振興会議の報告書の附帯意見では、「公共交通機関による通学の利便性向上について、関係機関に働きかけることが望ましい。」とされています。</p> <p>県立高校再編の実施方針では、再編統合にあたっては、この附帯意見を尊重しながら進めることとされておりますので、今後、公共交通機関による通学の利便性向上について、関係機関に働きかけてまいります。</p>
40	a	再編統合の対象校の教職員にも、職場で混乱が生じないよう、しっかりと説明をするとともに、その意見を聞き、高校再編を進めてもらいたい。	県立高校再編の実施計画については、再編統合の対象校の教職員をはじめ、県立高校の教職員に対し、周知してまいります。
41	b	現中学 3 年生たちに安心できる情報を提供して、来年度の入学生が確保できるよう、働きかけてもらいたい。 【この他、同様のご意見 2 件】	毎年 11 月に、県内の中学 3 年生全員にパンフレット「県立高等学校をめざすみなさんへ」を配布しておりますが、今年度は、このパンフレット(※)に県立高校再編の実施計画(素案)の概要や再編統合の対象校への支援内容などを掲載いたしまして、対象校の生徒たちが、学習はもとより、学校行事や部活動などにおいて、これまでと同様に、充実した高校生活を送ることができるよう、優先的、重点的に取り組むことを周知しております。
42	c・f	高校再編の概要について、中学生向けの説明資料を作るなどして、生徒、保護者に周知してもらいたい。 【この他、同様のご意見 1 件】	<p>また、中学 2 年生全員に対しましても、来年 1 月に県立高校再編の実施計画の概要を掲載したパンフレットを配布することとしておりまして、今後とも、中学生と保護者の方々への情報提供に努めてまいります。</p> <p>【※ パンフレットについては参考資料 4】</p>

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

II 新高校の概要 1 泊高校と入善高校による新高校について

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
43	b	新高校の自然科学コースは、一般社団法人 黒部川扇状地研究所と連携すれば、子どもたちのためによいと思うので、連携を検討してもらいたい。	<p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「今後、新高校の教育目標やカリキュラムなど、より具体的な検討を進めることとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、より具体的な検討を進めてまいります。</p>
44	b	新高校の観光ビジネスコースに、外国人観光客を視野に入れた活動を取り入れることを検討してもらいたい。	
45	c	平成 32 年度から2年間は、泊高校と新高校の両校に観光ビジネスコースが設置されることになるが、活動内容にあまり差をつけてもらいたくない。	
46	c	新高校のフィールドワークの活動範囲が、朝日町にも広がることは大変よいことである。その際、朝日町で1週間通して活動するなどのカリキュラムを組んでもらいたい。	
47	c	泊高校の全国レベルのアーチェリー部の活動を、新高校にしっかりと引き継いでもらいたい。	
48	b	アーチェリー部の設備については、県でしっかり整備してもらいたい。	<p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「新高校における施設・設備等に関しては、各学校の学科構成や教育内容等を踏まえ、学習環境の充実を図り、新高校が魅力あるものとなるよう、必要な施設・設備の整備等について、段階的・計画的に検討を進めるものとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、段階的・計画的に検討を進めてまいります。</p>

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

II 新高校の概要 2 水橋高校と富山北部高校による新高校について

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
49	d	新高校にくすり・バイオ科を増設する案については、卒業後の進路について制限を加えるものではないかと危惧しており、現在の卒業後の進路と卒業後の就職者の定着率などを踏まえて、慎重に検討してもらいたい。	<p>富山県薬業連合会からご要望いただいた県立高校の薬業に関する専門学科(薬業系学科)の増設については、①薬業系学科の一般入学者選抜の志願倍率が、職業科全体の平均を大きく上回っており、また、県内関係業界からの求人倍率、県内関係業界への就職率のいずれもが職業科の中で最も高いことから、増設の必要性が最も高いこと、②増設するとした場合、一般入学者選抜の志願倍率、県内関係業界からの求人倍率が、いずれも富山北部高校のくすり・バイオ科が滑川高校の薬業科を上回っていることを踏まえ、総合教育会議で検討・協議を行っております。</p> <p>その結果、水橋高校と富山北部高校による新高校において、くすり・バイオ科を1学級から2学級に増設することを、実施計画(素案)に盛り込んでおります。</p> <p>ご指摘の現在の卒業後の進路については、富山北部高校と滑川高校の薬業系学科の卒業生は自らの意志によって進路を決定し、この2年間で約35%が進学し、約65%が就職しております。</p> <p>また、卒業後の就職者の定着率については、本県の高卒就職者全体の3年以内の離職率が約31%である中、両校の薬業系学科の県内関係業界に就職した者の3年以内の離職率が8%程度と低い状況にあります。</p> <p>こうしたことを踏まえますと、新高校にくすり・バイオ科を増設しても、生徒の卒業後の進路に制限を加えることにはならないのではないかと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【詳細は参考資料5】</p>
50	b・c	平成32年度から2年間は、水橋高校と富山北部高校の両校に体育コースが設置されることになるが、両校に専門的指導者を継続的に配置してもらいたい。【この他、同様のご意見 1件】	<p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「新高校における施設・設備等に関しては、各学校の学科構成や教育内容等を踏まえ、学習環境の充実を図り、新高校が魅力あるものとなるよう、必要な施設・設備の整備等について、段階的・計画的に検討を進めるものとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、段階的・計画的に検討を進めてまいります。</p>
51	f	フェンシングの専門教員を配置し、他県との教員交流等を実施して、体育コースの授業と部活動の指導体制を整えてもらいたい。	
52	b	体育コースと部活動の練習場所をしっかりと確保してもらいたい。	
53	b・d	部活動の練習場所については、岩瀬スポーツ公園を活用して確保してもらいたい。 【この他、同様のご意見 2件】	
54	a	カヌー一部の練習場所については、現在水橋高校が使用している白岩川を活用してもらいたい。	
55	d	カヌー一部の練習場所については、住友運河の使用も検討してもらいたい。 【この他、同様のご意見 1件】	

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
56	f	十分な広さと空調設備があるフェンシングの施設を建設してもらいたい。	<p>【No.50～55の対応(案)を再掲】</p> <p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「新高校における施設・設備等に関しては、各学校の学科構成や教育内容等を踏まえ、学習環境の充実を図り、新高校が魅力あるものとなるよう、必要な施設・設備の整備等について、段階的・計画的に検討を進めるものとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、段階的・計画的に検討を進めてまいります。</p>
57	f	フェンシングの試合用ピスト、試合用総合ランプ付き審判器セットを整備してもらいたい。	
58	f	トレーニング施設の充実を図ってもらいたい。	
59	f	体育コースの生徒は県内から集まることから、早朝に登校するため朝食が十分に取れない。生徒の体力向上のため、朝食を提供する体育コース専用の食堂を整備してもらいたい。	
60	b	新高校は学級増となりエアコンが不足するので、公費での設置について検討してもらいたい。	

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

II 新高校の概要 3 高岡西高校と高岡高校による新高校について

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
61	b・c	人間福祉コース、福祉活動、ソフトテニスなど、高岡西高校での取組みが、新高校に引き継がれる方向性が見えるようにしてもらいたい。 【この他、同様のご意見 4件】	実施計画(素案)のIIの3の(5)「魅力ある学校づくりのための仕組み」において、高岡西高校と高岡高校による新高校では、現在、高岡西高校で取り組まれている、福祉をはじめとする地域貢献活動の推進やソフトテニス部の設置を行うことを記載しています。 人間福祉コースについては、①高岡西高校の人間福祉コースと高岡高校の探究科学科は、ともに生徒にとって興味・関心の高い事柄について深く学ぶことを通して、豊かな人間性を備えたリーダーの育成を目指しており、目的は同じであること、②人間福祉コースで学ぶ分野は福祉、体育、音楽のいずれかであるが、探究科学科では、より幅広い分野からテーマを設定し学ぶことができることから、新高校には探究科学科を引き継ぐこととし、人間福祉コースについては引き継がないこととしておりますので、ご理解願います。
62	a	新高校では、就職や専門学校のガイダンスなどに積極的に取り組み、そうした進路を選択する生徒を増やしてもらいたい。	実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「今後、新高校の教育目標やカリキュラムなど、より具体的な検討を進めることとする。」と記載しています。 今後、いただいたご意見も踏まえながら、より具体的な検討を進めてまいります。
63	b	現在の高岡西高校におけるボランティア活動の取組みをそのまま新高校で実施できるか疑問であり、よく検討してもらいたい。	
64	b	強いソフトテニス部を引き継ぐため、指導者を確保してもらいたい。	実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「新高校における施設・設備等に関しては、各学校の学科構成や教育内容等を踏まえ、学習環境の充実を図り、新高校が魅力あるものとなるよう、必要な施設・設備の整備等について、段階的・計画的に検討を進めるものとする。」と記載しています。 今後、いただいたご意見も踏まえながら、段階的・計画的に検討を進めてまいります。
65	b	男女テニス部に加え、男女ソフトテニス部を設置すれば、生徒の分散や練習場所不足が起こる可能性があるため、よく検討してもらいたい。	
66	b	ソフトテニス部とテニス部がしっかり活動できるように、全天候型のコートを整備してもらいたい。	
67	b	高岡西高校が保管している優勝記念品や美術品などの保管場所を確保してもらいたい。	

県立高校再編の実施計画(素案)に対するご意見の概要と対応(案)

※「区分」について
 a : パブリックコメント
 b : 地域説明会(再編統合の対象校の同窓会、PTA、自治振興会など)
 c : 中学校関係者(中学校長会、県PTA連合会地区連絡協議会など)
 d : 富山県議会
 e : 県政ふれあいトーク
 f : 各種団体(県ライフル射撃協会、県フェンシング協会、県建設業協会、県自治会連合会)

II 新高校の概要 4 南砺福光高校と南砺福野高校による新高校について

No.	区分	ご意見の概要	対応(案)
68	b	新高校では、2つの学科を1つの学科に統合したり、再編を機に新学科を設置することを検討してもらいたい。	<p>県立高校教育振興会議の報告書の附帯意見では、「再編統合対象校の特色ある学科については、再編統合後も引き継いでいくことが望ましい。」とされています。</p> <p>県立高校再編の実施方針では、再編統合にあたっては、この附帯意見を尊重しながら進めることとされておりますので、実施計画(素案)のIIの4の(3)「学科構成」において、南砺福光高校と南砺福野高校による新高校では、両校の特色ある学科を引き継ぐことを記載しています。</p> <p>県立高校の学科については、時代の変化に対応した人材を育成するため、必要に応じて随時見直すことが望ましいと考えていますが、土木・建築に関する専門学科(土木・建築系学科)の新設については、①平成27年度に、従来20名程度であった高岡工芸高校土木環境科土木工学コースの受入れ枠を30名程度まで拡大できるように実験・実習設備を整備していること、②平成28年度までの一般入学者選抜の志願倍率は、土木・建築系学科が薬業に関する専門学科(薬業系学科)を上回っていたものの、ここ2年間は土木・建築系学科が薬業系学科を下回っていること、③県内関係業界からの求人倍率、県内関係業界への就職率は、いずれも土木・建築系学科が薬業系学科を下回っていること、④県内関係業界に就職した者の3年以内の離職率は、土木・建築系学科が薬業系学科を上回っていることを踏まえ、現時点で新高校に土木・建築系学科を新設することは、なかなか難しい面があるのではないかと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【詳細は参考資料1】</p>
69	e	新高校に土木・建築学科を新設してもらいたい。	
70	c	新高校に入学した生徒を、学校でしっかりと教育してもらいたい。	<p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「今後、新高校の教育目標やカリキュラムなど、より具体的な検討を進めることとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、より具体的な検討を進めてまいります。</p>
71	b	新高校では、国際科やライフル射撃部の設置、施設・設備の整備等において、生徒の教育環境が充実するようにしてもらいたい。	<p>実施計画(素案)のIの5「今後の検討の進め方」において、「新高校における施設・設備等に関しては、各学校の学科構成や教育内容等を踏まえ、学習環境の充実を図り、新高校が魅力あるものとなるよう、必要な施設・設備の整備等について、段階的・計画的に検討を進めるものとする。」と記載しています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえながら、段階的・計画的に検討を進めてまいります。</p>
72	d・f	本県のライフル射撃競技の競技力向上のため、平成31年度に、南砺福野高校にライフル射撃部を設置してもらいたい。 【この他、同様のご意見 1件】	<p>実施計画(素案)のIの3「実施年度」において「平成32年度に新高校を開設する」としており、また、IIの4の(5)「魅力ある学校づくりのための仕組み」に「特色ある部活動として、ライフル射撃部を設置する。」と記載しています。</p> <p>ライフル射撃部の設置時期については、前期再編においては特色あるいずれの部活動も新高校開設時に設置されたことを踏まえ、今回の高校再編においても、適切に対応することとしており、南砺福光高校の2年生、3年生から新高校1年生に伝統やスキルが継承されることを目指すこととしております。</p>